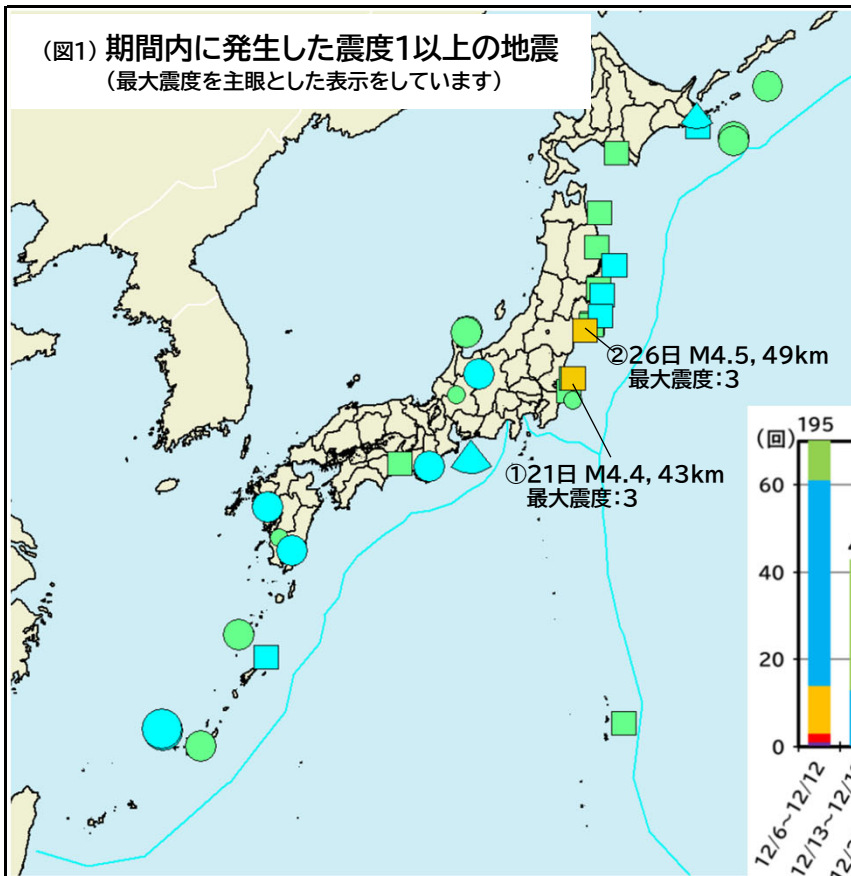


この期間の最大震度は3

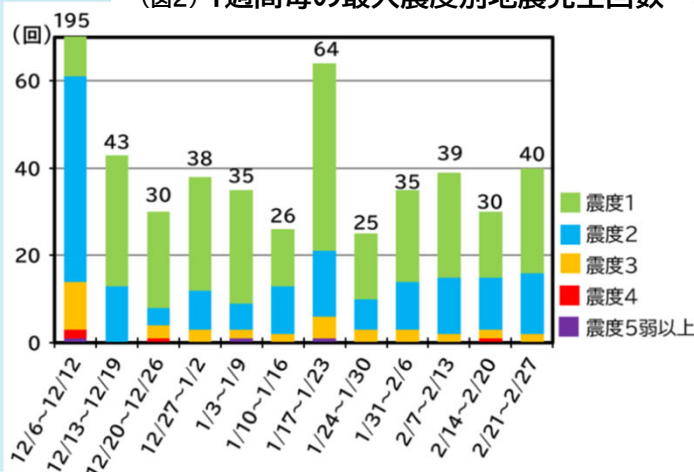
本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)

(図1) 期間内に発生した震度1以上の地震
(最大震度を主眼とした表示をしています)



最大震度	マグニチュード	深さ (km)
震度5弱以上	7.0	0
震度4	5.0	30
震度3	3.0	90
震度2		
震度1		

(図2) 1週間毎の最大震度別地震発生回数

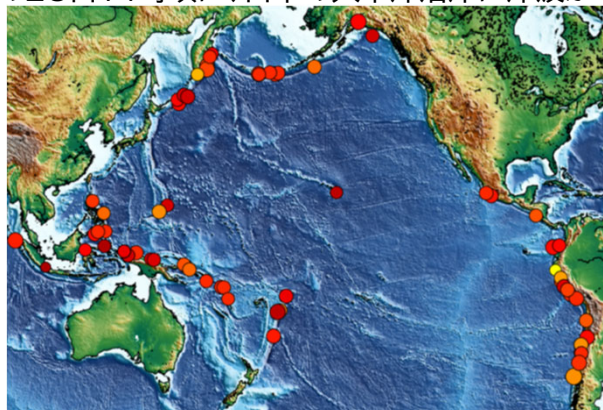


主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が40回発生。最大震度は3。 ■
- ①21日10時12分に茨城県沖で発生した地震(M4.4、深さ43km)により、茨城県東海村で震度3を観測したほか、関東地方及び福島県で震度2~1を観測。
- ②26日08時32分に福島県沖で発生した地震(M4.5、深さ49km)により福島県双葉町と浪江町で震度3を観測したほか、岩手県から茨城県、栃木県にかけて震度2~1を観測。この地震は陸のプレートと太平洋プレートの境界で発生した逆断層型。

トピックス

- 2010年2月27日のチリ中部沿岸の地震と津波 ■
- ・2010(H22)年2月27日15時34分(日本時間)、チリ中部沿岸で Mw8.8の地震が発生した。この地震により震源に近いチリで2mを超える津波を観測し、沿岸では大きな被害が発生した。
- ・気象庁は、日本にも津波が来襲するおそれがあると判断し、翌日の28日09時33分に青森県~宮城県の太平洋沿岸に「大津波」の津波警報、そのほかの各地の沿岸に「津波」の津波警報や津波注意報を発表した。
- ・地震発生から約22時間後(大津波警報発表から約4時間半後)の28日14時頃に、日本の太平洋沿岸に津波が来襲し、国内の高い所で1mを超える津波を観測した。
- ・チリ沿岸は、日本の太平洋沿岸と同じく海側のプレート(ナスカプレート)が陸側のプレート(南米プレート)の下に沈み込んでいる場所で、M8.0以上の地震が繰り返し発生している場所で、1960(S35)年のチリ地震の際に発生した津波は、日本でも死者、行方不明者 142人などの大きな被害が発生した(被害は「最新版 日本被害地震総覧」による)。
- ・このように津波は日本近海で発生した地震だけではなく、太平洋に面した外国で発生した大きな地震でも日本に来襲します。
- ・気象庁は、外国で発生した地震で、日本に津波の来襲するおそれがある場合には、事前にその旨の情報を発表し、テレビやラジオをとおして私たちに伝わりますので、そうした情報を見聞きして、避難時の持ち出し品などの準備をしっかりと津波警報が発表された場合にはすぐに行動出来るようにしておくことが大切です。



外国で発生した地震で日本に津波が来襲した主な地震 (気象庁とUSGSのデータを基に作成)